

令和 3年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	木原奉文
	全体計画						経費区分		-		内線	3416
事務事業名	4171 市単治山事業											
所 属	150100 産業振興部・農林課											
施 策	15012200 森林の多面的機能の維持保全と共生											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	060301 農林水産業費・林業費・林業振興費										
	事業	030000 市単治山事業										
事業目的						事業概要・効果						
災害等による保安林以外の森林の被害を最少限にくい止める						保安林以外の民有林等の自然災害に対する予防治山と被災箇所の復旧治山を早期に保全することにより、森林の公益的機能を発揮できる。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
坂田山遊歩道丸太柵設置工事 3段 L=16m	坂田山遊歩道丸太柵設置工事 3段 L=16m
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		1,789	500
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		1,789	500
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,393.6	1,393.6
	嘱託職員	314.9	314.9
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,708.5	1,708.5
市民一人当たりの経費		0.1	0.0
総額		3,497.5	2,208.5

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	1,789	坂田山共生の森遊歩道丸太柵設置工事491、市営住宅豊丘団地前法面復旧工事1298
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	500	坂田山共生の森遊歩道丸太柵設置工事500
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	自然災害に対する予防治山と被災箇所の復旧治山により、森林の公益的機能の維持を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	森林被害を最小限に食い止めることを図っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	大規模な治山工事については、公共治山事業や県単治山事業の採択要望をしている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
予防治山としての丸太柵設置と、被災箇所の復旧工事を行った。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

防災上の治山事業は必要不可欠

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

災害防止のため、必要な箇所には予防治山を行う必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント